

2027 年横浜国際園芸博覧会について

- 2027 年における A1 クラスの国際園芸博覧会の開催を推進している横浜市からの要望を踏まえ、農林水産省及び国土交通省は、有識者等による「国際園芸博覧会検討会」を 2019 年 9 月に設置。3 回にわたり審議をいただき、国が関与して国際園芸博覧会を開催する意義をとりまとめいただいた。
- これを受け、農林水産省及び国土交通省において、AIPH の規約に基づき、2027 年横浜国際園芸博覧会への支援を表明する政府支持書を、2020 年 2 月 12 日付けで、AIPH（国際園芸家協会）に提出した。

（政府支持書の内容）

- ・ AIPH の活動に対する一般的な敬意の表明
- ・ 日本における A1 クラスの国際園芸博覧会の実績
- ・ 横浜市が園芸博覧会の規則を遵守することを約束している旨
- ・ 政府による 2027 年横浜国際園芸博覧会への支持表明

- 米国にて開催された AIPH 春会議（2020 年 3 月 2 日）において、2027 年横浜国際園芸博覧会の開催が AIPH に正式承認された。
- AIPH の承認を受け、次の手続きとして BIE（博覧会国際事務局）認定に向けた協議を行う必要があることから、横浜市が作成する計画案について充実すべき事項等に係る検討を行うため、有識者からなる横浜国際園芸博覧会具体化検討会を 2020 年 10 月に設置し、最終となる第 3 回を 2021 年 3 月に開催。今後、内容等の精査を行った上でパブコメ等に付し、計画案として取りまとめる予定。なお、検討会報告書（案）の概要は資料 4-2 のとおり。